

災楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和2年12月1日

みなさんはどこを選択しますか？

先日、防災学習公開授業・講演会が本校でありました。

3年2組の『総合的な学習の時間』と6年生の『算数科』での公開授業となり、市内の小中高等学校からも先生が参加してくれました。

3年生の授業では、防災について家族会議の役割をたずねたり、DVDを見ながら避難の準備や階段の昇り下りなど、実践的な学習を行いました。



子ども達は本当に良く調べており、グループによっては室内模型まで作り、家具の配置を考えることを投げかけていました。時間が少なく十分に発表することができませんでしたが、『家族会議で防災について話す』というゴールに向かっての一步は達成していたと思います。

また6年生は算数と防災学習を関連付けて勉強していました。

【問題】

バルで地震にあったとき、3つの経路のうち、どの経路で第一次避難場所まで避難したらいいか考えましょう。

- ①バル→ほざき前→植垣歯科→避難場所
- ②バル→ポ・江→市役所階段→公民館→避難場所
- ③バル→ポ・江→天神町交差点→公民館→避難場所

この問題を解くにあたっては、下のデータを元に考えています。

・3つの津波避難経路のデータを一瞥で提示。

	第1経路	第2経路	第3経路
最短時間	2分35秒	2分22秒	2分30秒
最長時間	4分42秒	4分48秒	4分32秒
平均時間	3分28秒	3分26秒	3分35秒
最頻値(10秒単位)	3分40秒以上	3分50秒以上	3分30秒以上
最も度数が多い階級	3分50秒未満	4分00秒未満	3分40秒未満
中央値	3分20秒	3分35秒	3分34秒
3分30秒以内の割合	57.5%	45%	40%

※時間はほぼ実測値に近い値となっている。

巨大地震が起きて30cmの津波到達までの時間が5分程度とされている中、2分程度の揺れがあり、さて保護者のみなさんは、どの経路を選択しますか？

本当に災害が起こった時には、様々な状況を判断しながらの行動となるため、どの経路を選んだとしても正解だとは思いますが、大事なことは、命を守るというゴールに対して、学習したことを生活の中でも生かし、自分たちで考えることだと思います。

授業後反省では、「様々なデータから自分たちなりに考える事ができていましたよ。」との参観された他校の先生方からお褒めの言葉を頂きました。

授業後の講演会では、慶應義塾大学の大本先生が「南海トラフ地震に向けていまできること～準備や減災・防災～」と題してお話をしてくれました。

その中でこんなことにも取り組んでいるのだから十分だということはないんだとあらためて感じました。

さて、授業や講演会を受けて、早速職員の中では、「これまでの避難訓練で良いのか？」という疑問が出てきました。

そこで次回の避難訓練では、災害が起きたことを想定して、ケガ人の設定やものが倒れていたり、道路に障害物を置くなどして実際により近い状況を作り出し、取り組んでみようということになりました。

ゴールは家族会議です。先日の公開授業も含めて、お家でしっかりと話し合ってください。

清水まな防災コーナー

校舎2階の交流ホールに、防災に関する子ども達の学びの足跡があります。

前半にも書きましたが、高知県学校安全総合支援事業の指定を受けて防災学習に取り組んでいます。コロナ感染症予防から取り組みが遅れていましたが、取り組みを始めてみると子ども達は本当に良く頑張ってくれています。

学年に合った取り組みと聞いていいと思います。木曜日は「道徳・人権参観日」ではありますが、2学期の子ども達の頑張りをぜひ見てあげてください。掲示場所が2階にあるため、1年生、2年生の保護者の方には見に行ってください。全学年の取り組みを見ることができ、ぜひ足を運んでみてください。



今年もあと1ヶ月

今年も残すところあと1ヶ月となりました。本当ならば、8月には東京オリンピック・パラリンピックが行われ、もしかしたら世界記録がたくさん出ていたかも知れませんね。

様々な事が感染症対策から中止または延期となつて、1日も早い感染症の終息を願っていますが、その兆しはまだ見えていないように思います。

体調には十分気をつけて、三密を避けて2学期のまとめを頑張りましょう。ファイト!!!